

厚木市教育委員会の基本目標		1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】		校長名 川口 千秋
学校教育目標		学校経営の方針		
自律と尊重 ーともに学ぶー		認めあい、学びあい、高めあう学校風土の醸成		
今年度の重点目標				
【豊かな心】◎互いに認め合い、高め合い、ともに生きていく豊かな心の育成 ○一人一人に応じた指導や支援の充実 ○子どもの居場所がある学級経営、人間関係づくりの育成 【確かな学び】◎一人一人の興味関心を基にした多様で質の高い学びづくり ○主体的で対話的な学びの教育と社会に開かれた教育課程の推進 ○安心・安全な学習環境づくり 【健やかな体】◎多様な運動や体力づくりに楽しく取り組む環境づくり ○防犯や交通安全などの安全指導の徹底 ○家庭と連携した健康への意識向上と推進				
評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
①豊かな心 (他者との関係づくり、個に応じた指導・支援の充実、よりよい学級経営、道徳・人権)	2・3	・児童会活動(異学年交流、行事)の充実 ・学級経営(児童理解、集団づくり、環境整備)の充実 ・すべての職員ですべての児童の実態把握(情報共有、ウォッチングウィーク) ・支援教育(教育支援会議、個に応じた指導、インクルーシブ教育)の充実 ・道徳・人権教育の推進 ・キャリア教育の推進	・各委員会が中心となり、児童会活動を進め、児童会行事やハッピータイムなどを通して異学年交流の充実を図ることができた。 ・ウォッチングウィークを設けることで、児童の支援・指導だけでなく、学級経営についても教員間で連携を図ることができた。 ・支援が必要な児童や困り感をもつ保護者に対して、組織的に対応することができた。 ・スクールカウンセラーや元気アップアシスタントと連携して、児童や保護者に寄り添った支援を行うことができた。	・異学年交流のさらなる充実のため、年間計画を見直したり、活動のあり方を見直したりし、一人一人がさらに活躍できるようにする。 ・成長や発達段階に応じた指導の在り方や児童の困り感を分析し、個に応じた適切な働きかけの工夫・改善を行う。 ・児童指導及びケース会議における継続的な審議と会議の在り方の模索を図る。 ・困り感のある児童に対して、個別の対応ができるよう、組織的に支援ができるようにする。
②確かな学び (学習活動の充実、ICTを活用した授業づくり、安心安全な学習環境づくり)	1・3	・学年に応じたタブレット型PCの基本操作と効果的な活用の推進 ・主体的で対話的な学びに向けた授業改善の推進 ・地域の歴史や自然、人材と触れ合う学習活動の充実と発信 ・SDGsの視点を取り入れた教科指導の計画と推進	・校内研究と絡めて、児童が自分の考えを表現できるよう、「伝え方マスター」を全校で活用して、授業改善に努めた。反面、「伝え方マスター」で型が決まってしまうことによって「生き生きと」表現できない部分もあり、伝え方については課題が残る。 ・地域の方々に加え、学校運営協議会や学生・保護者ボランティアに協力を要請し、学習活動の充実に努めた。ボランティアに関しては、十分に活用できなかったものもあるので、計画をし直したり見直しを図ったりしていきたい。 ・総合的な学習を中心に、SDGsについての知識を広げ活動を計画・推進した。	・タブレット型PCの操作は、慣れてきている児童が多い。そこで今後は、発達段階に応じた系統性のある年間計画を作成する。 ・引き続き、伝え合い活動の充実を図る。 ・各学年の学習活動を見直したり精選したりして、計画的に学習活動を進めることができるようにする。 ・SDGsに関わる指導や保護者ボランティアを募る活動については、見直しをもって計画を立て、全職員で情報共有する。
③健やかな体 (多様な運動、体力づくりに楽しく取り組む、安全指導、健康への意識向上)	1・2	・授業で取り組める運動の紹介と共有 ・運動習慣を継続させるための実践 ・安全点検の見直し実施 ・定期的な交通安全指導の啓発と発信 ・ハンカチ・テッシュの携帯調査 ・健康を守るための習慣カードの実施	・メンター研修などの機会を使って、授業で取り組める運動の紹介を定期的に行った。しかし、全職員に周知するまでには至らなかった。 ・児童の委員会活動でなわとび月間などの取組を行い、運動習慣を継続させることができた。 ・安全点検においては、実情に合わせた点検項目になるよう、項目を精選し、安全点検項目を作り直した。 ・児童の委員会活動で、ハンカチ・テッシュの携帯調査を行い、衛生面についての意識を高めることができた。 ・児童の委員会活動と関連させながら、健康を守るための習慣カードを実施し、その結果、児童の健康に対する意識の向上につながった。	・授業で取り組める運動の紹介を、メンター研修だけでなく多くの機会に行い、全職員で情報共有していく。 ・運動習慣を継続させるための実践や、衛生の習慣化を図るために、今後も児童の委員会活動などの取組と関連させて行う。 ・不審者訓練や避難訓練を工夫し、様々な場面を想定して行なう。 ・掃除の仕方を見直し、指導を工夫して、清掃活動の充実を図る。
④校内研究推進	1・2	・算数の授業研究に向けての企画・推進・取りまとめ ・算数の指導法についての情報発信 ・伝え合い活動や数学的活動などのテーマに関する研修会の計画・実施	・「自分の考えを生き生きと表現し、学びあう子 ～数学的活動を通して～」というテーマのもと、授業研究を中心に研究を進めることができた。 ・問い返しの仕方や伝え合い活動について、研究を重ねる中で再考してきたが、表現の仕方や伝え合い活動の在り方については課題が残る。 ・今年度も筑波大学附属小学校盛山隆雄先生を講師に迎え、テーマについての研鑽を積むことができた。	・授業研究において、年度当初に、目指す児童像や伝え合いの仕方を明確にし、系統立てて研究を進めることができるようにする。 ・導入の工夫やまとめの仕方、算数的な言葉の使い方や朝学習の時間を活用した既習事項の定着などについて、学校全体で取り組むようにする。 ・算数の指導法について、引き続き、研修会を設定したり講師を招くなどして、研鑽を深められるようにする。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見
担任だけでなく、学校全体で子どもを育ててくれている。先生たちが、子どもに一生懸命・温かく接してくれている。などの好意的なご意見をいただいた。 昨年度まで感染症対策のため徹底できなかった歯磨き指導に関しては、全児童が歯磨きをした方が良いというご意見をいただき、全児童が給食後歯磨きを徹底するように声をかけている。 毎日クロムブックを持ち帰ってeライブラリーの宿題をしているが、計算をしっかりとしていなかったり、適当に答えを打ち込んでいたりする姿も見受けら、学力が下がったように見受けられるというご意見をいただき、今後の宿題の出し方・在り方については検討していく。
今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針
・「豊かな心」「確かな学び」「健やかな体」の3分野でのグループ会議を行い、重点の確認や具体的取組について、共通理解を図り実践につなげた。 ・全国学力・学習状況調査をもとに、本校の課題や強みについて共通理解を図り、各学年における課題解決のための具体的手立てについて、検討した。また、今年度、効果のあった取り組みに関しては、次年度も引き続き取り組めるようにしていく。 ・各グループの重点目標や目標を達成するための具体的な取組などの位置づけを再検討し、共通理解することにより、学校全体を挙げて取組ができるようになった。 ・グループの機能を働かせ、具体的な取組の充実を図り、更なる担当グループでの具体的な取組の検討を推進する。 ・次年度についても、保護者、地域と連携しコミュニティスクールを基盤とした地域とともにある学校づくりに努める。